

この夏、地方創生について学ぼう！

地方創生

この夏は、

5つの自治体
が参加！

政策体験学習 2022夏

地方創生プロジェクト

全学共通科目・2年生以上(2単位)

講義の概要:

自治体の「地方創生事業」について、①事前学習、②体験学習、③事後学習の3つの学習活動から学びます。

① 事前学習

地方創生の背景や事業仕分け、評価手法について担当教員が講義をする。また、連携協定を結んでいる自治体職員がそれぞれの地方創生事業について説明する。

② 体験学習

実際に自治体の現場に入り、自治体職員と議論したり、事業の関係者に対してヒアリングをしたりしながら、事業に対する情報を収集し、分析・評価を行う。現場活動は5日間実施する。

③ 事後学習

現場で学んだ政策について「模擬事業仕分け」を行う。模擬事業仕分けの結果も踏まえ、自治体に対して新たな事業の提案を行う。

自治体 : 智頭町、北栄町、琴浦町、大山町、南部町

担当教員 : 小野達也(地域学部)、長曾我部まどか(工学部)

※ 履修希望者は「事前説明会」への参加が必要です。詳しくは下記または裏面をご覧ください。

事前学習	日程調整のうえ実施	オリエンテーション	オンライン
	期日までに視聴	地方創生について 評価手法について	オンデマンド
	日程調整のうえ実施	体験活動に向けた説明	オンラインまたは大学
体験学習	8月中旬～9月中旬の期間中、約5日間 ※今年度は5つの自治体で実施します！各町の内容は裏面をご覧ください。		
事後学習	9月26日(月) 3限～5限	模擬事業仕分け 発表会に向けた説明	CDL コミュニティ・デザイン・ラボ (広報センター1階)
	9月30日(金) 10:00-12:00	発表会	CDL コミュニティ・デザイン・ラボ (広報センター1階)

【問合せ先】 長曾我部まどか(ちょうそかべ)

工学部H棟2階2508 TEL: 0857-31-5760 MAIL: mchoso@tottori-u.ac.jp

- 履修登録方法 : 事前説明会に参加し、担当者へ直接申し込む。定員 : 15名
- 事前説明会 : 7/11-7/15の期間に実施。希望者は7/10までに申し込むこと。
- 申込フォーム : <https://forms.gle/LxiXDnNPMJDGzYvM9> QR⇒
Googleフォームでの回答には、鳥取大学のアカウントへのログインが必要です。



	内 容	担当課・期間
智頭	<p>「まちのコインを使った持続可能なまちづくり」</p> <p>智頭町は長年にわたる住民自治の取り組みが評価され、令和元年にSDGs未来都市に選定されました。SDGs推進事業の一環として、コミュニティ通貨「まちのコイン」を本格導入し、新たな視点での持続可能なまちづくりを目指しています。</p>	<p>総務課・企画課</p> <p>8月22日(月)～26日(金) の5日間</p>
北栄	<p>「みんなで取り組むマンガのまちづくり」</p> <p>地元においてマンガのまちづくりの認識を高め、地域住民と行政が一体となってまちづくりを推進するために何が必要か、まち歩きや地域住民とのふれあいを通し現状の課題や改善点について考えます。</p>	<p>観光交流課</p> <p>9月2日(金)、3日(土)、5日(月)～7日(水) の5日間</p>
琴浦	<p>「ことうら環境アクションチームの取り組み」</p> <p>琴浦町では、昨年、「みんなで考える家庭ごみ減量会議」を開催し、町民の方と一っしょにごみ減量に向けた取り組みの提案である「提言書」を作成しました。この提言書の内容を実際の行動に移すため、町民の方が主体となって自発的に行動するチーム「ことうら環境アクションチーム」を発足します。町民の方と一っしょに活動し、現状や課題を発見します。</p>	<p>町民生活課</p> <p>8月8日(月)～9月中旬まで のうち4日間</p>
大山	<p>「地域課題の解決を目指す地域自主組織の取り組み」</p> <p>大山町には住民主体による地域づくり活動を行う「地域自主組織」が10あり、それぞれ行政の手の届きにくい地域特有の課題を解決するために活動を展開しています。地域の取り組みを体感しながら地域づくりを学習します。</p>	<p>企画課</p> <p>8月29日(月)～9月2日(金) の5日間</p>
南部	<p>「公共交通の現在と未来」</p> <p>高齢者人口が増える中、町民が安心して暮らし続けるために、移動手段の確保・充実が喫緊の課題です。町営バスについて、本年度デジタル技術を活用した「AIデマンドタクシー」の導入を行います。利便性が高く、コストを抑えた公共交通を実現するため、一緒に体験・考えてみませんか。</p>	<p>企画政策課</p> <p>8月22日(月)～24日(水) の3日間</p>

体験学習について

- ◆ 受講者は、5つの自治体から1つを選び、3～5日間の体験学習に参加します。2つ以上の自治体への参加はできません。
- ◆ 受講者は、第1～3希望を提出します。担当教員が調整のうえ決定します。必ず希望に添えるものではありません。
- ◆ 1つの自治体で3～5名の学生と一緒に活動をします。
- ◆ 交通費および宿泊費（宿泊を伴う場合）は、自治体が負担します。学生は食費などが自己負担となります。
- ◆ 受講者は「学生教育研究災害傷害保険/学研災付帯賠償責任保険」または「学生総合共済（生協）」への加入が必要となります。

その他、注意点

- ◆ 体験学習および事後学習には必ず参加する必要があります。
- ◆ 工学部社会システム土木系学科社会経営工学プログラム **2,3年生**（21年20年入学）は「地方創生プロジェクト（TD20100040）」です（こちらの定員は8名）。事前説明会への参加が必要。
- ◆ 不明点は長曾我部（mchoso@tottori-u.ac.jp）まで問合せください。

受講希望者に対し、7/11-7/15の昼休みに「事前説明会」（オンライン）を実施します。
事前説明会に参加しないと履修登録できません。希望者は【7/10(日)】までに、説明会に申し込んでください。 申込フォーム：<https://forms.gle/LxiXDNnPMJDGzYvM9> ⇒QR

Googleフォームでの回答には、鳥取大学のアカウントへのログインが必要です。

